TOAA REPORT

2017－5
平成29年5月1日　通巻273号
公益社団法人　東京屋外広告協会
〒100-0005 東京都千代田区丸ノ内2-5-1
（丸ノ内二丁目ビル5階）☎3213-1963
http://www.toaa.or.jp/ FAX3212-3718

第10回東京屋外広告コンクールを振り返って

公益社団法人東京屋外広告協会　副会長
東京屋外広告コンクール実施委員会委員長
高　村　　徹

東京屋外広告コンクールは平成10年に東京都から引き継いで20年、10回目を迎えました。本コンクール事業は東京における唯一の屋外広告のコンクールとして東京屋外広告協会にとりましても大変重要な事業となっております。

お陰様にて今回は前回を約30件上回る107件のご応募をいただきました。これまでにも増して大変優れた作品が数多く出品され、デザインの質が年々向上していることをますます実感いたしております。屋外広告は広告宣伝という役割でございますが、東京都の景観と調和の取れた素晴らしい街並みを彩る文化的な要素になっていると言っても過言でありません。

今回選ばれた12作品と第2回「東京都都市整備局長奨励賞」の2作品も大変優れた作品ばかりでございます。去る3月7日に表彰式を開催し、受賞者を始め約160人の方々にご参加いただき無事終了いたしました。本事業を実施するにあたりご協力いただきました東京都、東京商工会議所を始め関係機関の皆様、そして会員の皆様に心よりお礼申し上げます。

当協会といたしましては、本コンクールを始め様々な事業を通して業界のさらなる活性化、そして世界に誇れる都市東京の景観形成に寄与するべく、2020年の東京オリンピック・パラリンピック以降も見据えた活動を目指してまいりたいと存じます。皆様におかれましては、引き続きよろしくお願い申し上げます。

（株式会社昭和ネオン　社長）

第10回東京屋外広告コンクール特集

審査報告　太田幸夫委員長	2頁	平成29年度事業計画	11頁
受賞作品	3～7頁	平成29年度収支予算	12～13頁
第2回東京都都市整備局長奨励賞作品	8頁	新会員紹介	14頁
表彰式～盛大に行われる～	9頁	ホームページリニューアル	15頁
第3回理事会開催　その他委員会	10頁	日本のサインと空間デザイン　事務局便り	16頁

あなたの未来を、カタチに。

FUJISAWA

株式会社フジサワ・コーポレーション

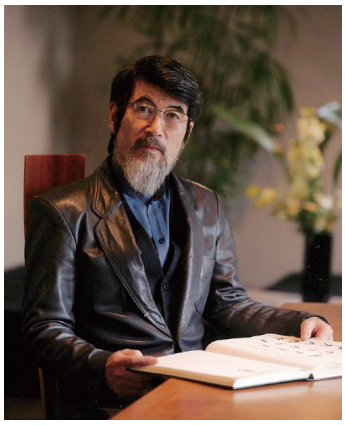
藤澤工業株式会社　株式会社ローヤルカラー　株式会社サワダ

http://www.fujisawa-corp.co.jp

本社　〒171-0051 東京都豊島区長崎1丁目10番地8号
コマーシャル・イメージング事業部　TEL 03-3973-1641 / FAX 03-3973-2517

第10回東京屋外広告コンクール審査報告

第10回東京屋外広告コンクール審査委員長　太田　幸夫
特定非営利活動法人サインセンター理事長



去る3月7日（水）午後3時より、東京・神田神保町の学士会館最大300人収容の大ホールで、第10回東京屋外広告コンクール表彰式が成功裏に開催され、続いて盛大な懇親会も開かれた。

20年前、本コンクールの主催が東京都から公益社団法人東京屋外広告協会に委託されて以来、2年ごとの審査に関わってきた経緯の中で、前回に続いて審査委員長として特に印象深い体験をさせていただいた。それは屋外広告コンクールの受賞作品が、屋外広告デザインの優秀作という物差しによって選別されるようになったということ。

屋外広告の秀作が、屋外広告デザインの物差しで測られる割合が、明らかに増えているという事実が増えていることを感じた。それは一見同じ物差しではないのかと思える。けれども、実態としては少なからず違いがある。その違いを分別するかどうかはとても大きな問題である。今後の屋外広告を考える上で重要な押さえどころであると言えるかもしれない。

屋外広告だけの審査基準であれば、その広告の昼夜の訴求効果、あるいは費用対効果などが重要な押さえどころといえる。訴求効果の意味するところは注目度と言ってもよいだろう。数十年前の屋外広告、特に夜景を彩るネオンサインなどには、そうした大きなインパクトを競い合う屋外広告が少なくなかった。

現在ではそうした自己主張だけを前面に出して、力で訴える屋外広告というよりも、周りの環境との調和、そしてその屋外広告のもつ内発的な魅力や親和性、言い換えれば調和や審美性といった誰にも受け入れられやすい造形の価値が、ものを言うようになった。少しオーバーに言えばある種の文化性を評価する社会的な感性の高まりに応える屋外広告とでも言えようか。もともと日本の屋外広告の伝統には、優れたピクトグラムデザインによる江戸の看板や商家ののれんなどが店頭を飾った。世界に誇れる文化を育ててきた屋外広告デザインの歴史である。

そうした屋外広告を適切に審査するためには、デザインの質を見抜く評価が審査員に求められる。今回も前回同様に表彰式で、審査委員の皆さまがとても優秀で学ぶことが多かったと申し上げたのは、こうした理由による。屋外広告が屋外広告デザインの評価基準を伴って審査された結果は、都市景観のレベル向上に少なからず貢献するはずである。なぜなら都市景観の善し悪しは、個別の屋外広告の是非以上に、建物と屋外広告、屋外広告と屋外広告など、都市環境を構成する各種構成要素相互の関係性に大きな比重を置く案件であるからだ。

そうした観点から今回の受賞作品を見ると、東京都知事賞4部門をはじめ、東京商工会議所会頭賞と東京屋外広告協会会長賞にも、その大半の受賞作品には共通して前述した屋外広告デザインの良さを見取ることができる。しかもその手法は、建物や車体との一体感の演出（新橋・ペルサ、松屋銀座、高尾山、横浜ポルタ、恋のコラボ）、画材や描法による力量（カロリーメイト）、造形の優しい魅力（音泊、緑の豆）、文字の形象性（医×働）や静電気で動く浮世絵。

そうした中で、新宿高野のデザインが形状、配色、文字、レイアウト、照明のすべてにおいて極めて高いデザインの完成度を見せていたにもかかわらず、極限まで追い込んだ表現の単純さが、その価値を覆い隠していた事実も一部明らかになった。屋外広告景観はすでに、これまでと違う上質でシンプルなデザインを求める時代に入っていると言えるのではないか。

オーケストラコンサート渋谷ジャックは、第3部門のグランプリに輝いた。その表現メディアは渋谷駅前から東急文化村まで既存メディアの可能性を100％活用する力の入れようで、屋外空間全体を一つの広告表現の舞台に変身させようとした点で大きな注目を浴びた。広告表現手法も場所もサイズも距離もさまざまな表示面を同時に使ったものの、ゲームという広告内容のダイナミックな相乗効果に限界が伴ったことは、残念であった。環境の構造物は多様であっても、プロジェクションマッピング手法のように、フレームのない連続した力強い表現効果をもつ次なる屋外広告の誕生に期待したい。

第10回東京屋外広告コンクール　受賞作品

当協会が隔年で実施している東京屋外広告コンクールは今回で第10回目を迎えました。応募総数はここ数年の中でいちばん多い107件で、2月6日に公正かつ厳正に審査を行い12点の受賞作品を決定いたしました。表彰式は3月7日に学士會舘（千代田区）にて開催しました。東京都知事賞、東京商工会議所会頭賞、公益社団法人東京屋外広告協会会長賞の各賞に対して各部門、各作品の広告主、デザイナー、制作者を表彰しました。

東京都知事賞

第一部門

作　品　名　新橋・ペルサ　屋上文字
広　告　主　株式会社光和ビルディング
デザイナー　クリエイティブ・スタジオ株式会社
制　作　者　株式会社昭和ネオン
設 置 場 所　港区新橋1-15-5　ペルサ115

第二部門

作　品　名　カロリーメイト「見せてやれ、底力。」
広　告　主　大塚製薬株式会社
デザイナー　株式会社 catch　株式会社博報堂
制　作　者　株式会社弘亜社
設 置 場 所　東京メトロ新宿駅　メトロプロムナード

人が通う。心が、かよい合う。
交通メディアのトータルプランニング
Advertising Agency
SHUNKOSHA
株式会社春光社
〒104-0031　東京都中央区京橋3-7-5　TEL:03-3538-9320（代）　http://www.shunkosha.co.jp/

第三部門

作　品　名　グランブルーファンタジーオーケストラ
　　コンサート東京公演渋谷ジャック
広　告　主　株式会社 Cygames
デザイナー　株式会社 Cygames
制　作　者　株式会社オリコム
設 置 場 所　渋谷駅一帯

第四部門

作　品　名　高尾山トレイン
広　告　主　京王電鉄株式会社
デザイナー　株式会社タンデム
制　作　者　株式会社京王エージェンシー
設 置 場 所　京王線

東京商工会議所会頭賞

第一部門

作　品　名　株式会社新宿高野　本店　屋上広告塔
広　告　主　株式会社新宿高野
デザイナー　株式会社昭和ネオン
制　作　者　株式会社昭和ネオン
設 置 場 所　新宿区新宿 3-26-11　株式会社新宿高野　本店

第二部門

作　品　名　世界初！動く浮世絵　～ボストン美術館所蔵俺たちの国芳わたしの国貞展～
広　告　主　日本テレビ放送網株式会社
デザイナー　株式会社東急エージェンシー
制　作　者　株式会社川口電機製作所
　　株式会社システムクリエイツ
　　株式会社ショウエイ
設 置 場 所　渋谷駅地下

第三部門

作　品　名　緑の豆　神楽坂焙煎所
広　告　主　緑の豆　神楽坂焙煎所
デザイナー　日本廣告株式会社
制　作　者　東宣工藝株式会社
設 置 場 所　新宿区神楽坂 5-13

第四部門

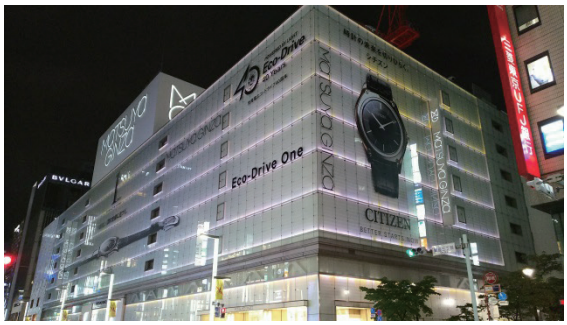
作　品　名　PORTA　CHRISTMAS
広　告　主　横浜新都市センター株式会社
デザイナー　株式会社ジャパンライフデザインシステムズ
制　作　者　株式会社京急アドエンタープライズ
設 置 場 所　京急線

公益社団法人東京屋外広告協会会長賞

第一部門

作　品　名　エリメント HRC「医×働」
広　告　主　株式会社エリメント HRC
デザイナー　株式会社カラーズ
制　作　者　東京ネオン株式会社
設 置 場 所　世田谷区上馬 5-35-25　ネオアーュジュ上馬

第二部門



作　品　名　松屋銀座壁面プロモーション「CITIZEN Eco-Drive One」
広　告　主　シチズン時計株式会社
デザイナー　株式会社由田企画　株式会社ダイアモンドヘッズ
制　作　者　株式会社松屋　株式会社イサミヤ
設 置 場 所　中央区銀座 3-6-1 松屋銀座

第三部門

作　品　名　音泊　IKEBUKURO
　　音泊　SUGAMO
広　告　主　株式会社ホームデザイン
デザイナー　東電タウンプランニング株式会社
制　作　者　東宣工藝株式会社
設 置 場 所　豊島区西池袋 2
　　豊島区南大塚 1-32

第四部門

作　品　名　恋のコラボ広告
（キリン午後の紅茶 恋のティーグルト×江崎グリコポッキー　恋のレモン）
広　告　主　キリンビバレッジ株式会社
江崎グリコ株式会社
デザイナー　株式会社電通
制　作　者　株式会社電通
株式会社ジェイアール東日本企画
設 置 場 所　山手線

★

第一部門　建築物の屋上に設置された屋外広告物
第二部門　上記以外の公共空間などの屋外広告物
壁面、突き出し、建植、バス停留所上屋利用広告（バスシェルター）
※駅構内などを含む　※プロモーション・イベントに伴う短期間設置を含む
第三部門　街並み（商店街や屋外の公共空間）や通りを構成する屋外広告物
バナー広告、フラッグ広告、電柱・街路灯柱利用広告、街の特定のエリアにおけるプロモーション・イベントに伴う広告
第四部門　車体利用広告

※作品は平成 27 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日迄に設置されたもの

主　　催：公益社団法人東京屋外広告協会
後　　援：東京都　東京商工会議所
協賛・協力：東京屋外広告美術協同組合　関東ネオン業協同組合　一般社団法人東京バス協会
関東交通広告協議会　東電柱広告組合　東日本鉄道東京広告会　東京地下鉄広告会
都営交通広告会

あらゆるニーズに応えます。
都営交通広告会
お問い合せは
〒104-0031　東京都中央区京橋3-7-5　京橋スクエア
株式会社 春光社内
TEL 03-3538-9320(代)　FAX 03-3538-9220

第２回東京都都市整備局長奨励賞受賞作品

東京都都市整備局長奨励賞ついて (概要)

1. 目　　的
東京都において車体利用広告が定着し多くの広告が掲出されている中、デザインの質の確保が重要となっている。よって、新たに表彰制度を設け、優れたデザインを選出し、広告主や制作者に広く周知することで車体利用広告全体のさらなるデザインの向上を図る。
2. 表彰内容
車体利用広告デザイン審査案件の中から優れたデザインに対して広告主、デザイナー、制作者を表彰する。

平成 27 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日に車体利用広告デザイン審査を受けた約 886 件の中から選ばれました。

電　車

作　品　名　横浜 DeNA BAYSTARS TRAIN 2015
広　告　主　横浜高速鉄道株式会社
デザイナー　株式会社横浜 DeNA ベイスターズ
制　作　者　株式会社横浜 DeNA ベイスターズ
掲 載 媒 体　横浜高速鉄道

※注：上記は平成 27 年 3 月～ 12 月までの使用で、現在は使用していません。

バ　ス

作　品　名　キユーピーとヤサイな仲間たち
広　告　主　キユーピー株式会社
デザイナー　株式会社ライトパブリシティ
制　作　者　株式会社ライトパブリシティ
掲 載 媒 体　東急バス

企画からデザイン・撮影・施工まで、あらゆる
ビジュアルニーズに応える総合コマーシャルラボ。

デジタルの美しさを、人へ、街へ。

●銀塩写真、インクジェット出力ともにデジタル対応
●屋外広告やバス/地下鉄のラッピングなど幅広く対応

株式会社 ラボ・銀座
東京都中央区日本橋箱崎町20-13
TEL. 03-5614-4440　〒103-0015

第10回東京屋外広告コンクール表彰式 盛大に行われる

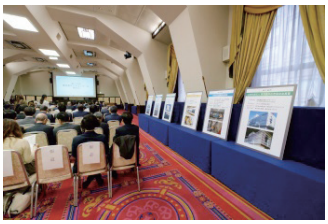
３月７日、第10回東京屋外広告コンクールの表彰式が学士會舘で行われました。当日は各受賞作品の広告主、デザイナー、制作者の方々の他に後援の東京都、東京商工会議所、関係機関、会員など約160名が参加しました。本コンクールは平成10年に東京都より引き継ぎ今回で10回目。応募総数は107件、受賞作品は東京都知事賞など３賞の各部門合計12作品（3～7頁参照）が選ばれ、夫々代表として広告主に表彰状とトロフィーが手渡されました。

開会にあたり石井卓爾東京屋外広告協会会長より挨拶がなされた後、東京都都市整備局技監の上野雄一氏より東京都知事賞が授与され、続いて石井会長（東京商工会議所特別顧問）から東京商工会議所会頭賞、公益社団法人東京屋外広告協会会長賞が授与されました。

また、前回から創設された車体利用広告デザイン審査を受けた中から優れたデザインを表彰する東京都都市整備局長奨励賞（8頁参照）の表彰も併せて行われ、電車とバス夫々１点が受賞しました。

厳正な審査により選ばれた各作品について太田幸夫審査委員長より、都知事賞受賞作品を中心にデザインの良さ、最近の傾向などの講評が述べられました。閉会にあたり高村実施委員長より挨拶があり、表彰式は滞りなく終了しました。

引き続き滝副会長の乾杯の音頭により懇親会を開催。受賞者を始め関係機関、会員などの方々が集い、記念撮影や活発な交流が行われお開きとなりました。



第3回理事会開催 平成29年度事業計画・予算決まる
～70周年関連の事業も検討～

3月7日、学士會舘にて東京屋外広告協会（以下：屋協）の平成28年度第3回理事会が開催され、平成29年度事業計画、収支予算が決定しました。（11～13頁）

当日の出席者は理事22名（理事25名）、監事3名で、石井会長の挨拶で開会。始めに3月1日に開催された総務委員会にて理事会に諮るべき事項について検討した旨、間宮総務委員長より報告があり審議に入りました。

まず、事務局より「平成29年度事業計画（案）」と「平成29年度収支予算案（案）」の説明があり、事業計画については当協会70周年事業の検討などが盛り込まれました。予算は約1,232万円が計上され、事業と予算に関連する内容であることから一括で審議し承認されました。続いて当協会が受けた寄付について、ホームページのリニューアルに活用することの説明があり、続いて第89回定期総会開催を来る6月14日（水）とすること等が承認されました。また、昨年12月2日に実施された東京都が定期的に行う立ち入り検査の報告、第10回東京屋外広告コンクールについて高村副会長から受賞作品などの報告があり了承されました。閉会にあたり、滝副会長から挨拶があり第3回理事会は滞りなく終了しました。

会場となった學士會館

理事会審議案件を検討～第3回総務委員会開催

3月1日、第3回総務委員会（委員長：間宮泰三・協立広告会長）が協立広告会議室で開催されました。今回は来る3月7日に開催される理事会での審議案件について検討しました。平成29年度事業計画案、予算案を始め、平成29年は東京屋外広告協会が設立されて70周年にあたることから、記念事業について理事会の審議案件とすることになり、平成30年（2018年）には新しい東商ビルが竣工し屋協事務所が移転するので、期間に幅を持たせて検討することとなりました。その他第10回東京屋外広告コンクールなどの案件の説明を受け、7つの議件、5つの報告を理事会に上程することとなりました。

最近の傾向や気になる案件を協議～第3回車体利用広告デザイン審査委員会

3月22日、第3回車体利用広告デザイン審査委員会（委員長：福山達雄・日広通信社長）が丸の内二丁目ビル会議室で開催されました。今回は3月7日の第10回東京屋外広告コンクールの表彰式において行われた第2回東京都都市整備局長奨励賞の報告の他、平成28年度の車体利用広告デザイン審査件数（2月28日現在377件）が28年度も400件超えの見通しであることを事務局より報告、そして気になるデザイン案件や最近の傾向などについて意見交換し、これからの審査に繋げていくこととしました。

The Visual Communication Company

キングプリンティング株式会社
www.kingprinting.co.jp

□東京支社 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目5-8 西新橋一丁目川手ビル4F ☎03(3503)6700

平成29年度事業計画

基本的考え方

平成 29 年度は当協会の事業活動を引き続き円滑に推進するため、新会員加入の促進など組織基盤の整備に努めると共に、事業については増加傾向にある車体利用広告デザイン審査事業のさらなるデザインの質の向上を目指します。委員会活動などでは屋外広告を取り巻く様々な課題を議論する他、東京屋外広告協会が昭和 22 年（1947 年度）に設立してから 70 周年の節目を迎えるに当たり、記念行事についても併せて検討し実施する予定です。

以上のように当協会は都市環境美化の推進、維持を目指して活動するとともに、本年度も東京の都市文化向上と、東京オリンピック・パラリンピック等を視野に入れたホスピタリティ溢れる街づくりの一助となるべく、会員を始め関係機関と協力しながら、屋外広告業界全体の向上を目指して下記の事業を展開してまいります。

記

[公益目的事業]

1．屋外広告に関するセミナー・施設見学会等の実施

屋外広告に関わる最新の状況、参考となる知識や情報、最近の経済社会現象などその時代に応じたテーマで、屋外広告関係の人材育成に繋げる他、会員を始め、広く情報提供を図ります。

2．車体利用広告デザイン自主審査事業

電車、バス、タクシー、広告宣伝車の車体利用広告のデザイン審査を当協会の自主審査基準に基づいて行います。審査件数は、ここ数年 400 件を超えており、今後東京オリンピック・パラリンピック開催に向けてますます増加することが予想されます。それらを踏まえ、本年度も良好な景観の保持並びに交通の安全等という観点にそって、よりスムーズな審査の実施を目指します。

3．屋外広告に関する情報の収集・調査・研究及び普及啓発事業

（1）機関紙「TOAA REPORT」を年 3 回発行。

東京屋外広告協会の活動の他、行政による屋外広告関係の施策や各方面の取り組みなど役立つ情報を会員のみならず広く都民に提供します。

（2）ホームページによる情報発信

平成 28 年度にリニューアルを実施したことにより、引き続き、今年度もより見やすく役に立つホームページを目指し、屋外広告に関わる取り組みや活動などについてタイムリーな情報提供をしていきます。また、機関紙「TOAA REPORT」を掲載するほか当協会の活動の紹介など広く周知を図ります。

（3）違反屋外広告物共同除却への協力

東京都が主導する都内各地における違法な放置看板、貼り紙等の共同除却作業に協力します。

[その他の事業]

4．会員相互のコミュニケーション・交流の促進

組織の維持と様々な活動を円滑に行うために、会員相互のコミュニケーション及び広く他の機関との交流を図ることができる場作りに努めます。

5．委員会活動、広報活動の強化

各委員会では屋外広告に関する様々なテーマを取り上げて、場合により外部講師や関係者を招き、広い視野で議論ができるように努めていきます。

さらに今年は東京屋外広告協会設立 70 周年を迎えることから、記念事業を検討し実施に繋げていきます。

また、事業活動や委員会等での議論の成果、そして屋外広告に関する取り組みや活動について、当協会機関誌「TOAA REPORT」や、ホームページ、業界紙等を積極的に活用し事業者だけでなく都民等に広く周知されるように努めていきます。

6．オリンピック開催に伴う屋外広告関係事業の検討

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて当協会として、事業等を検討します。

屋外広告・放送広告・交通広告・デジタルサイネージ事業

NAGATA

長田広告株式会社 東京支社 東京都中央区日本橋小伝馬町7-2 古賀オールビル6F

Network事業部 Tel.03-5643-6480 Fax.03-5643-6476　交通事業部 Tel.03-5643-9330 Fax.03-5643-9331

収 支 予 算 書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

科　目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1 普及啓発	小計	他1 相互コミュニケーション	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1)経常収益							
特定資産運用益	0	0	0	0	2,000	0	2,000
①特定資産受取利息	0	0	0	0	2,000		2,000
受取入会金	10,000	10,000	0	0	10,000	0	20,000
①入会金	10,000	10,000	0	0	10,000		20,000
受取会費	6,175,500	6,175,500	537,000	537,000	2,237,500	0	8,950,000
①法人会員受取会費	5,409,600	5,409,600	470,400	470,400	1,960,000		7,840,000
②個人会員受取会費	248,400	248,400	21,600	21,600	90,000		360,000
③団体会員受取会費	517,500	517,500	45,000	45,000	187,500		750,000
④賛助会員受取会費	0	0	0	0	0		0
事業収入	2,732,000	2,732,000	617,000	617,000	0	0	3,349,000
①広告料収入	465,000	465,000	0	0	0		465,000
②行事参加費収入	117,000	117,000	617,000	617,000	0		734,000
③講習会費等収入	0	0	0	0	0		0
④屋外広告ｺﾝｸｰﾙ事業収入	0	0	0	0	0		0
⑤車体利用広告ﾃﾞｻﾞｲﾝ審査事業収入	2,150,000	2,150,000	0	0	0		2,150,000
雑収入	0	0	0	0	1,000	0	1,000
受取利息	0	0	0	0	1,000		1,000
経常収益計	8,917,500	8,917,500	1,154,000	1,154,000	2,250,500	0	12,322,000
(2)経常費用							
事業費	9,067,000	9,067,000	1,193,650	1,193,650		0	10,260,650
役員報酬	1,683,000	1,683,000	99,000	99,000			1,782,000
給料手当	1,449,000	1,449,000	42,000	42,000			1,491,000
退職給付費用	96,600	96,600	2,800	2,800			99,400
法定福利費	315,300	315,300	9,900	9,900			325,200
会議費	485,000	485,000	834,000	834,000			1,319,000
旅費交通費	604,300	604,300	26,900	26,900			631,200
通信費	232,600	232,600	35,850	35,850			268,450
消耗品費	28,000	28,000	500	500			28,500
外注費	1,085,000	1,085,000	0	0			1,085,000
荷造運賃	45,000	45,000	0	0			45,000
光熱水料費	19,200	19,200	1,200	1,200			20,400
賃借料	1,768,000	1,768,000	110,500	110,500			1,878,500
リース料	376,000	376,000	23,500	23,500			399,500
支払報酬料	660,000	660,000	0	0			660,000
諸会費	100,000	100,000	0	0			100,000
雑費	120,000	120,000	7,500	7,500			127,500
管理費					2,793,350	0	2,793,350
役員報酬					198,000		198,000

収 支 予 算 書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

科　目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1 普及啓発	小計	他1 相互コミュニケーション	小計			
給料手当					609,000		609,000
退職給付費用					40,600		40,600
法定福利費					124,800		124,800
広告宣伝費					65,000		65,000
交際費					45,000		45,000
会議費					431,000		431,000
旅費交通費					188,800		188,800
通信費					103,550		103,550
消耗品費					1,500		1,500
外注費					80,000		80,000
光熱水料費					3,600		3,600
賃借料					331,500		331,500
リース料					70,500		70,500
諸会費					15,000		15,000
支払報酬料					463,000		463,000
雑費					22,500		22,500
経常費用計	9,067,000	9,067,000	1,193,650	1,193,650	2,793,350	0	13,054,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 149,500	△ 149,500	△ 39,650	△ 39,650	△ 542,850	0	△ 732,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 149,500	△ 149,500	△ 39,650	△ 39,650	△ 542,850	0	△ 732,000
2. 経常外増減の部							
(1)経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0		0
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 149,500	△ 149,500	△ 39,650	△ 39,650	△ 542,850	0	△ 732,000

東京メトロ

東京の“ど真ん中”に情報発信

東京地下鉄広告会

【事務局】
〒105-0003
東京都港区西新橋1-6-21
ＮＢＦ虎ノ門ビル4階
㈱メトロアドエージェンシー
媒体本部 媒体管理局 管理部内
TEL 03-5501-7835
FAX 03-3593-6150

新会員紹介

新たな広告サービスの可能性を追求
～スペースクリエイション事業の拡大を推進～

株式会社ケシオン

丸の内仲通りでイベントを行うラッピングロンドンバス

株式会社ケシオンは1995年大阪に本社を設立し、SP広告の企画・制作・運営・管理を行ってきた広告代理店です。中でも屋外広告、特に短期屋外広告を中心に媒体開発をしており、アメリカントラックを使った移動広告や、ネットワークを駆使した「エリア・ジャック広告」などを実施し、新たな広告サービスの可能性を追求してきました。

2003年に東京支社を開設し東日本エリアでの媒体開発、営業活動を本格稼働させ、2009年には関西圏各電鉄の交通広告取扱指定を多く持つ株式会社関西企画をグループ化して交通広告の分野にも事業を拡げました。2014年にはアジア地域での拠点としてケシオンマレーシアを開設、2015年にはロンドンバス、アメリカンスクールバスなどを保有する株式会社アップスターをグループ化して広告宣伝・プロモーション用車両を30台以上ラインナップするなど、最適且つ新たなコミュニケーション効果を生み出すソリューションを提供し続けています。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催、インバウンド需要、スマホ・SNSを始めとするコミュニケーション手法の変化など、東京の屋外広告市場も変革の時期に来ています。この時代の流れに乗り、弊社は今後もこれまで以上にスペースクリエイション事業（メディアデベロップメント、メディアレップ）を拡大させていきます。

この度、屋外広告業界の発展に長年尽力されてきた御協会に加盟させていただくことになりました。どうぞご指導、ご支援賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

つい見てしまう。なぜか気になってしまう。
そんな広告を作りませんか?
生活者の行動を捉えるプランニング力と、
最新技術を取り入れたメディア開発力で、
御社のプロモーションを強力にサポートいたします。

INTERACTIVE COMMUNICATION
NKB INC.

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル
TEL.03-3504-2100(代)
http://www.nkb.co.jp/

これからの東京にふさわしい屋外広告を

～ホームページリニューアル～

東京屋外広告協会のホームページがリニューアルされました。

広報委員会（委員長：滝久雄副会長・NKB会長）にて平成28年度事業として当協会ホームページのリニューアルを行うこととなり、昨年５月よりホームページリニューアル検討小委員会（小委員長：小沢充広報委員会委員・NKB広報室次長）を設置、検討を重ね、本年２月10日に新しいホームページがオープンしました。

新トップページ（昼の東京）

新トップページ（東京の夜景）

トップページは大都市東京の昼と夜の写真で都市東京の東京屋外広告協会であることをアピールするデザインとなっています。そして今の時代にあった機能を備えるなど改善を図っています。

【主な改善点】

1. 画面　モニターサイズに合わせたワイド画面。
   文字を見やすい大きさと字体に変更。
2. 機能　マルチデバイス（スマートフォンや
   タブレット端末に対応）
3. 検索　アコーディオンメニュー等
4. 内容　各情報が見やすくなるようにレイアウトを工夫。
   東京屋外広告コンクールの受賞作品で動画掲載が可能
   とした。（動画がある場合はユーチューブへアップ。）
   東京都、東京商工会議所など関係機関との相互リンクをはる。
5. 更新　更新頻度が毎月できる体制。

Energy of Communication
広告もeco時代へ。
あらゆる面から広告という情報力をプロデュースし、お客さまのニーズに合った広告戦略をご提案してまいります。
KYORITZ
ADVERTISING AGENCY
協立広告株式会社
〒160-0007 東京都新宿区荒木町13-8 協立ビル Tel:03-3355-1911 Fax:03-3355-4170 URL:http://www.kyoritz-ad.co.jp

日本のサインと空間デザイン

5月はライトグリーン
～通天閣のライトアップが多彩な12色に～

通天閣はネオンとLEDを交互に点灯して広告の文言を変化させています。その通天閣のネオン広告は1957年7月から日立が掲出しており今年で60年になります。これまでもリニューアルを重ねてきましたが、さる2月10日（ツーテンの日）からライトアップの色を4月はチェリーブロッサム、5月はライトグリーンと月毎に12色で展開し、さらに15分毎に次々と色が変化する時間を設け、より華やかに輝く通天閣となりました。

また、60年使用した大時計はLEDビジョンにリニューアルされ、これからは歴代時計の再現や日本の四季など様々な動画を映す予定となっています。

出典 月刊 Signs & Displays 2017年3月号（マスコミ文化協会発行）より

事 務 局 だ よ り

◆平成28年度　会議・行事等報告

第10回東京屋外広告コンクール審査委員会
2月6日（月）　13時～17時　丸の内二丁目ビル

第3回総務委員会
3月1日（水）　13時30分～14時30分　協立広告

第3回理事会
3月7日（火）　14時～15時　学士會舘

第10回東京屋外広告コンクール表彰式
3月7日（火）　15時～16時　学士會舘

第3回車体利用広告デザイン審査委員会
3月22日（水）　12時～1時30分　丸の内二丁目ビル

◆平成29年度　会議・行事等報告

第1回編集小委員会
4月13日（木）　13時30分～14時30分　春光社

監事会
5月9日（火）　12時～13時30分　丸の内二丁目ビル

第1回総務委員会
5月11日（木）　13時30分～14時30分　協立広告

第1回理事会
5月15日（月）　13時30分～14時30分　丸の内二丁目ビル

◆今後の予定

第89回総会
6月14日（水）　14時30分～15時30分　レベル21東京會舘

臨時理事会
6月14日（水）　15時30分～15時50分　レベル21東京會舘

懇親会
6月14日（水）　16時～17時　レベル21東京會舘

お知らせ

◆東京屋外広告協会のホームページがリニューアルしました。
◆第10回東京屋外広告コンクールの受賞作品及び第2回東京都都市整備局長奨励賞の作品をホームページで紹介しています。
◆景観広告検定（全国屋外広告士連合会主催）3級試験、申込み期間　4月10日～6月14日
詳細は日本屋外広告業団体連合会のホームページをご覧ください。

http://www.ad-nikko.co.jp
伝えることが仕事です。
サイン・ディスプレイ/POP制作
電柱・交通広告／マスメディア
デザイン・印刷物・販促プランの提案
展示会トータルプロデュース
出展ブース企画・運営
総合広告代理店
株式会社日広通信社
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-3 新麹町ビル2階 TEL.03-3263-3521(代) FAX.03-3263-3509